校　報

忠部っ子だより

第　２９　号
令和８年１１月１６日
発行者
松江市立忠部小学校
校長：井　上　孝　弘



残り１カ月

１１月も中旬を過ぎ、天気の良い朝は、色づいた木々が朝日に照らされて、とてもきれいですが、「秋の日はつるべ落とし」と言われるように、夕方は、あっという間に暮れていくようになりました。

２学期も気がつけば、残り１カ月あまりとなりました。こどもたちも学習発表会が終わり、ほっと一息つきたいところですが、今度は、学期末に向けて学習のまとめをしていかなければなりません。

これから、今以上に寒さを感じるようになっていきます。感染症への対策はもちろんですが、風邪等も引かないよう、体調には十分に気をつけて健康に過ごしてほしいものです。

学習発表会

１０月２３日（金）には、学習発表会を行いました。１年生は「つくろう！みんなのげんきパワーサラダ」、２年生は「とびだせ！忠部のたんけんたい」、３年生は「楽しい３年生の１日を教えていくよ」、４・５・６年は「合唱２曲、合奏１曲」といった内容で、これまでの学習や練習してきたことの成果を精一杯発表することができました。そして、その発表を多くの人たちの前で披露することで、より大きな「自信」をつけることができたと思いますので、多くの皆様にご来校いただき、大変うれしく思いました。

また、保護者の皆様からもたくさんのお褒めの言葉をいただき、ありがとうございました。私も、一人一人の輝きやまとまりの良さの素晴らしさなど、本校の発表会の良さを改めて感じることができました。特に、１・２・３年生の発表は、一人一人がその子らしく安心して輝いていたと思いますし、４・５・６年生の発表からは、長い時間積み上げてきた集団としてのまとまりの良さを感じることができました。こうした、忠部小らしさ、忠部小の良さを活かしていくこと、これからも学校を運営していく上での柱にしていきたいと改めて感じることもできました。


２年生


３年生


４・５・６年生

忌部小学校人権宣言文

１２月４日（金）から始まる人権週間を前に、１１月１３日（金）には、人権教育に関する授業公開日やPTA研修会を開催しました。こどもたちも人権標語を作成するなど、日頃から教育活動の基底に据えて実践している人権教育をより重点的に取り組んでいるところです。日常的な取組としては、「忌部小学校人権宣言文」があります。この宣言文は、本校の各教室に掲示してあり、毎朝、こどもたちが声に出して読んでいるものです。

忌部小学校人権宣言文

わたしたち　忌部っ子は
自分や友だちを大切にし
言葉づかいに気を付けて
まちがいをおそれずに
たくましく生活することを
ちかいます。

宣言文からは、「自分や友だちを大切にする（人を大切にすること）」ことが「人権」であり、「人権を尊重すること」であること。そのために「言葉づかいに気をつける」ことが必要であること。そして、いつも人を大切にしていたり、いつも人から大切にされていると、人は「まちがいをおそれず　たくましく生活する」ことができるようになることが読み取れます。また、この宣言文については、市内の小学校に同様のものはほとんどないようですので、忌部小らしく、忌部小への愛着も抱きながら、これからも、「人を大切にすること」について、日々考えてほしいと思っています。

ふるさと忌部の「ひと・もの・こと」から学ぶ

この１ヶ月の間も多くの家庭や地域の皆様のご支援を受けながら、ふるさと忌部をはじめ地域の「ひと・もの・こと」から学ぶ機会がたくさんありました。ありがとうございました。

松江城授業プロジェクト

10月30日（金）、6年生は、市が平成28年度から実施している「松江城授業プロジェクト」として、松江歴史館の方のご指導のもと、松江城及び松江歴史館、松江ホーランエンヤ伝承館の見学を行いました。国宝に指定された松江城の歴史的価値などについて理解を広げるとともに、ふるさと松江に対する愛情と誇りが高まる一日になりました。



忌部地区文化祭

11月1日（日）、忌部地区文化祭が忌部公民館で開催され、全校児童の図工や毛筆作品、6年生の人権標語を展示していただきました。また、6年生の希望者はボランティアスタッフとして子どもコーナーの運営に関わり、地域の方や中学生の支援を受けながら、地域の一員として活躍していました。



さくらの家との交流会

11月6日（金）、3年生が、総合的な学習の時間に、グループホームなどを運営されている社会福祉法人さくらの家との交流会を行いました。事前学習（11/4）のため来校された職員の方のお話や当日障がいのある方と一緒にサツマイモと里芋の収穫活動をしたことなどを通して、福祉への理解が深まりました。

